

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

いわて住環エコハウス

グループの名称

岩手住環境技術研究会

直近採択グループ番号

06-0690-0066

(グループ代表者)

代表者名

立花 清久

代表者印

代表者所属先

株式会社タックホーム

代表者所在地

岩手県盛岡市津志田西

代表者電話番号

019-636-1772

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社タックホーム

事務局担当者名

栃沢 順幸

印

事務局郵便番号

020-0836

事務局所在地

岩手県盛岡市津志田西1-17-33

事務局電話番号

019-636-1772

事務局FAX

019-636-1936

事務局担当者E-mail

tac@tachome.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	いわて住環境エコハウス
2. グループの名称(必須)	岩手住環境技術研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0690-0066
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県
5. 結成年(必須)	1986 年
6. グループ代表者名(必須)	立花 清久
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社タックホーム
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県盛岡市津志田西
9. グループ代表者電話番号(必須)	019-636-1772
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社タックホーム
11. グループ事務局担当者名(必須)	栃沢 順幸
12. グループ事務局郵便番号(必須)	020-0836
13. グループ事務局所在地(必須)	岩手県盛岡市津志田西1-17-33
14. グループ事務局電話番号(必須)	019-636-1772
15. グループ事務局FAX番号(必須)	019-636-1936
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	tac@tachome.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	1	
V. 設計	2	
VI. 施工	10	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
		岩手県産材証明	岩手県	岩手県産材証明制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
各社均等に割り振り、一定期間が過ぎたら先着順									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	5	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月～12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27～H29)			被災地 に該当	ZEHビ ルダ ーに 該当	BELS工 務店に 該当
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅			
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
3	VI - 13	90166	株式会社タックホーム	8 戸	9 戸	5 戸	6 戸	0 戸	0 戸	3 戸	3 戸	m ²	m ²	8以上	8以上	8以上	○	○	○
3	VI - 14	90304	北日本ホーム 株式会社	5 戸	6 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	m ²	m ²	8以上	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 19	90390	有限会社中居建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 20	90196	株式会社松本	3 戸	3 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 21	90411	有限会社立花建築興業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 22	90312	有限会社 ホクプランニング	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 23	90322	有限会社 山井建設	2 戸	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 24	90361	有限会社岩手ハウスサービス	2 戸	2 戸	0 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 25	90341	有限会社インデュアホーム北盛	6 戸	6 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
3	VI - 26		NOLD	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m ²	m ²	7以下	7以下	7以下	○	○	○
VI - 27				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 28				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 29				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 30				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 31				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 32				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 33				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 34				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 35				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 36				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 37				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 38				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 39				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 40				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 41				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 42				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 43				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 44				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
VI - 45				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて住環エコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 岩手住環境技術研究会	(結成年) 1986年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0690-0066	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○高気密高断熱化で一時エネルギーの消費を抑え、省CO2を実現 ○新省エネ基準の3地域基準を上回るUA値0.56以下とする ○耐震耐久性を向上し、長く住み続けられる住まいにする ○地域材の木材・工業製品を活用した、地域還元住宅とする ○東日本大震災を背景に、住宅の品質の低下が懸念されるため、啓発活動をする	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	当グループは、岩手型住宅賛同事業者グループに登録しており、一定の省エネ性能を備え、かつ、岩手らしさ(県産木材の活用、木質バイオマスエネルギーの活用、地域性への配慮)を備えた住宅である「岩手型住宅」としての定義に順守する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	②同様に「岩手型住宅」に順守するとともに、住み手の要望も加味する必要があるため、一定の省エネ性能を備え、かつ、岩手らしさ・県産木材の活用等をデザインルールとする	○
④①～③の背景	岩手県は、本州で一番の最低気温を記録したほど、冬季は極寒地であるため、断熱した住宅が主流だが、量産メーカーを始め、内部結露等、建物の寿命の劣化が問題となり、20年程度で建替えをしている現実がある 南部曲り屋をはじめ、家族や動物の繋がりを重んじる県民性があり、住まいは家族の絆とする文化で大型住宅である反面、経済的に都市部から大きく劣っており、高品質な建物を得られない事情がある かつて、先人が風土に学んだ家づくりをしてきたものの、プレハブ化促進・輸入自由化のアオリで、全く風土に合わない、寒くて結露、耐久性のない住まいが、年々供給量が増えている	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	昭和61年から当会は岩手県のトップランナーとして風土に根差した住宅の研究をしてきた トップランナーとしてのプライドを持ち、新省エネ基準の一次エネルギー消費量や外皮計算、長期優良住宅や認定低炭素の設計施工の知識を会員間で高めつつ、グリーン化事業の普及活動をする	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内において木材寸法を規格化し、調達容易化に繋げる	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内において木材寸法を規格化し、調達容易化に繋げる	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 岩手県内に生産拠点のある断熱・暖房製造メーカーと研究活動を行っており、常に情報を共有する事で、グループ内の必要なスペック資材をメーカー・商社・工務店が協議している。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給・製材・集成材の供給状況は、施工会員では状況が把握できないので、流通業者が常時状況把握に努め、施工会員への供給量の情報を、構成員とのSNS等を活用し共有する	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員である施工事業者や賛助会員である設備・断熱材メーカー等を中心に委員会を設置する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産性の合理化を図るため、新しい省エネ設備や断熱材、工法等の情報を提供し合えるSNS等の管理を行う	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: BELS計算を建物毎に行い、住宅の暖房に関わる総熱損失に応じた機器の選定をする 過剰な設備は、機器の効率の悪化を招くだけでなく、過剰な価格高騰の抑制につながる	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟において気密測定を実施し、計画換気が有効に働く躯体であることを確認・調査する 努力目標を0.5cm2/m ² とし、結果に応じた良好な換気設備を保証することを狙いとする	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社独自の見積書または契約書の書式を使用するが、グループの最低保証品質を定め、積算数量で見えない品質や性能を明確にする 例としては、UA値性能の保証・気密性能の保証・換気性能の保証等	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの研究活動等の情報を、グループのホームページに積極的に掲載し、他グループと差別化した上で、安に価格競争に陥ることなく、品質に価格が有ることを会員間で共通の条件として訴求していく	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完全週休2日はまだ実現していないが、今後取り組むこととした。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験年数や資格などのほか、お客様満足度を取り入れた評価に取り組む。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 既に大半が実現しているが、一部の会員にも取り組みを促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 健康診断の実行、作業所点検など危険回避に取り組む。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ハウスオブザイヤーインエナジー表彰制度を連続受賞し、取組をPRする。また瑕疵保証を義務化している。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて住環エコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岩手住環境技術研究会	(結成年) 1986年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0690-0066		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書(30年間)を作成し、維持保全管理計画の実行を義務化する毎月実施するグループ定例会にて、メンテナンス等の実例報告を行い、会員相互で解決策を協議・共有する	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書(30年間)を作成し、維持保全管理計画の実行を義務化する毎月実施するグループ定例会にて、メンテナンス等の実例報告を行い、会員相互で解決策を協議・共有する	○
	②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の倒産等の場合、これまで共に地域に根差した高気密高断熱化の住まいづくりを研究してきた経験・知識を生かし、グループメンバー間でメンテナンスのバックアップを行う	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会で会員間報告	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店等に対し研修会を開催し、知識・経験を新たなメンバーと共有することを実施する	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密測定義務化で0.5cm2/m ² 以下とする	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に提出	◎
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の購入を検討しているユーザーに対し、地域材利用や省エネ住宅、設備等を説明するセミナーを、グループ及び賛助会員共同で定期的に開催し、段階的に当グループの取組みについての認識を広める	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 6	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 4	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: より一層の省エネ技術習得を目指し、各構成員1名以上の参加を目標とする	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当会の賛助会員のメーカーを通じフィールド試験を行う	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー商品開発の意見交換を通じ、相互間の研究を重ね、住まい手の利益に寄与する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループの技術力向上を図るため建築環境・設備の研究をされている、本間 義規 宮城学院女子大学教授・東京大学 前准教授を顧問招いており、定期的な勉強会・研究会を実施	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわて住環エコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岩手住環境技術研究会	(結成年) 1986年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0690-0066														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	岩手県産材・合法木材共に、主要構造材に使用する (軸組工法は柱・梁・桁・土台、2×4工法は縦枠・上下枠・床根太・端根太・頭つなぎ・土台)	◎												
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	岩手県産材証明制度 ↓ 合法木材証明制度 ↓ 原木供給グループ ↓ 製材・集成材・合板 ↓ プレカット・流通 → 施工グループ ← 設計グループ ↓ 施主													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通グループから毎月報告	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:													
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 軒の有る設計・卓越風を勘案した設計	○												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 南面から日差しを取り入れる	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域ガイドライン順守	○												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	当グループは、岩手型住宅賛同事業者グループに登録されているので、一定の省エネ性能を備え、かつ、岩手らしさ(県産木材の活用、木質バイオマスエネルギーの活用、地域性への配慮)を備えた住宅を「岩手型住宅」として定義している事を順守する 住み手の要望も加味する必要があるため、一定の省エネ性能を備え、かつ、岩手らしさ・県産木材の活用の部分を、当会最低のルールとする	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災を背景に、住宅の品質低下が懸念されるおり、これまで風土に根差した住宅の研究を行ってきた当グループとしては、より良い住まいを提供する技術の向上に努め、啓発活動を実施していく	◎													
平成28年熊本地震の復興に資する取組															

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> いわて住環エコハウス	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岩手県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 岩手住環境技術研究会	<small>(結成年)</small> 1986 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0690-0066	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>当会の対応エリアの岩手県は2・3・4地域の寒冷地であるので、住宅の断熱化は生命と関わる大切な要素である。と同時に深刻な温暖化は異常気象の要因であり、低炭素建築を推進して低炭素社会の手本とする。</p> <p>申請に関わる性能と特徴は下記とする</p> <p>UA値 2地域 0.3以下 3地域 0.35以下</p> <p>C値 0.5以下</p> <p>地域材を積極的に利用して、地域循環型の低炭素社会を構築する</p> <p>冬季の採熱を考慮した設計</p> <p>設備の低炭素化</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。